

JIS A 5548 タイプI F★★★★

JAIA 4VOC基準適合

セラミックタイル(内装 陶磁器質タイル)・ 石材用弾性接着剤 インテリア フレックス

内装用タイルや石材の張り付け施工用として開発された一液反応硬化形の変成シリコーン樹脂系接着剤です。硬化後はゴム状の弾力性を持つため、下地変形などによる応力を緩和します。セラミックタイル(ポードータイル)の張り付けなどセメント目地を詰めない工法にも使用できます。



変成シリコーン樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性固体類

容量	包装形態	梱包単位
2kg	フィルムバック	9

用 途

適用箇所	屋内の壁面
適用下地	モルタル、けい酸カルシウム板などのボード類
適用仕上げ材	・セラミックタイル(内装用陶磁器質タイル)、 石材 [300mm角以下 2kg/枚以下] ・ガラスタイル

注) 業務用浴室ではインテリアフレックスの使用を避けて下さい。使用に際しては当社営業にお問い合わせ下さい。

色 ※ここに示した色見本は現物と多少異なります。



性 質

外 観	マスチック状		
主 成 分	変成シリコーン樹脂		
張 付 け 可 能 時 間	5℃	23℃	35℃
	120分以内	90分以内	60分以内
硬 化 時 間 (目地詰め可能時間)	5℃	23℃	35℃
	3日	1日	1日

標準使用量

3mmクシ目	5mmクシ目
1.6~1.8kg/m ²	2.0~2.5kg/m ²
0.5~0.6m ² /kg	0.4~0.5m ² /kg
1.0~1.2m ² /2kg	0.8~1.0m ² /2kg

使用方法

【下地の確認】

- モルタル下地の場合
下地は、平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥していることを確認します。
- ボード類下地の場合
タワミのない厚手の合板またはボード類を使用し、目違いや目地あきのない下地とします。

【下地の調整及び清掃】

- 1.モルタル下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材で平滑にします。
- 2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材で平滑に仕上げます。
- 3.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。

【墨出し】

割り付け図面に従い墨出しを行います。

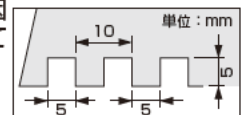
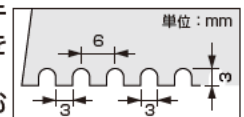
【接着剤の塗布】

- 1.接着剤を左官ゴテを用いて、下地に押し付けるように均一に塗布します。

チェック：・1回の塗布面積は張付け可能時間内に仕上げ材を張り終えることのできる面積として下さい。
・点付け施工は接着剤の硬化が進行せず、仕上げ材のスレなど不具合の原因になりますので行わないで下さい。

- 2.接着剤を塗布した後、クシ目ゴテ(右図)を用いて均一にクシ目をたてます。

チェック：厚塗り、薄塗り、塗布むらなどは接着不良の原因となりますので注意して下さい。



インテリアフレックス

【仕上げ材の張り付け】

1. クシ目を立てた後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。

チェック：張付け可能時間は環境により異なります。

2. 仕上げ材はもみ込むようにして張り、仕上げ材裏面全体に接着剤がなじむように、タタキ板などで充分圧着します。

3. 仕上げ材を適宜剥がし、仕上げ材裏面に接着剤が充分付着している事を確認します。

チェック：・仕上げ材表面に付着した接着剤は硬化する前にシンナーなどを含ませた布で拭き取って下さい。
・目地直しは、接着剤が硬化する前に行ってください。

【養生】

施工完了後、接着剤を硬化させるために夏期は1日以上、冬期は3日以上外力が加わらないように養生します。

【目地詰め】

1. 目地詰めを行う前に、仕上げ材のズレや接着剤の硬化不良がないことを確認します。

2. 目地用ゴムゴテを用いて、目地部に目地材が完全に充てんされるように塗り込みます。

チェック：出入り隅部、建具枠、設備機器との取り合い部にはシーリング材を充てんしますので、セメント系目地材を塗り込まないで下さい。

3. 仕上げ材表面に残った目地材はゴムゴテを用いて拭き取った後、湿したスポンジで拭き取ります。

4. 目地材が乾燥した後、乾いた布で拭き取り、仕上げます。

【端部の処理】

建具や設備機器との取り合い部には、シーリング材を充てんします。

チェック：シーリング材が硬化するまではホコリやゴミなどが付着しないようにして下さい。

取り扱い上の注意事項

インテリアフレックスを取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

- 接着剤が完全硬化するまで臭いが残ることがあります。施工中だけでなく、施工後1週間程度空気がこもらない工夫を行って下さい。
- 施工するには点付け施工を行わず、全面圧着張りにて施工を行って下さい。
- 屋外・床面・常時80℃以上となる場所には使用できません。
- 浴槽内・水槽内、及び鉄板・塗装面・タイル面など非吸水性下地には使用できません。
- 浴室に使用する時は養生時間を充分に取り、接着剤を完全に硬化させて下さい。
- 接着用途以外に、絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 凍結が起こらないように、気温の変化に注意して下さい。
- 取り扱い場所及び作業箇所は換気頻度を多く行って下さい。(施工中は窓を開け、施工後も日中は4～5日間、常に窓を開ける)
- 可燃性があります。使用時・取り扱い場所では火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 開封した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗いやウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 食品用器具、容器などには使用しないで下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)またはカタログをご参照下さい。
- インテリアフレックスをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意



●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621		技術開発センター FAX: 0584-89-8111 FAX: 0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

2011WIN06